

職業講話

11月29日（水）に1・2学年を対象に、新潟地域振興局新津地域整備部工務課の今井裕子様を講師にお迎えし、『みんなが活躍できる』建設業のススメ」と題して、ご講話いただきました。

講話では、今井様の経験談を交えながら、「土木」や「社会資本」とは何か、建設業の仕事にはどのようなものがあるのか、建設業のこれまでとこれからなどについてお話をいただきました。講話を聞いて、土木に対するイメージが変わった生徒も多くいたことと思います。

〈生徒が講演の中で印象に残ったこと〉

- ・土木は災害から人々の生命と財産を守り、生活を豊かにすること。
- ・3K（きつい、危険、きたない）から新3K（給与、休暇、希望）に変えよう。
- ・社会資本とは、当たり前暮らしが当たり前でありつづける整備。
- ・女性が働きやすい会社づくり。
- ・土木とは「市民のための工学」、建設業は各分野のプロが一丸となっていくもの。
- ・力仕事だけではない、「土木＝男性」だけではない。

〈生徒の感想、これからの高校生活に活かしたいこと〉

- ・今回の講話で土木のイメージが変わって、今後の選択肢として考えようと思いました。
- ・新たに一つ職業を知りました。
- ・女性でも活躍できる仕事が増えてきて、女性も働きやすいことがわかりました。もし、私がこの仕事に就いたら、災害から人々の生命と財産を守り、生活を豊かにしたいと思いました。
- ・進路に困ったら、建設業のことを思い出して進路を考えたいと思います。
- ・土木工事の大切さを聞いて、当たり前だと思っていた工事実は当たり前ではなく、整備してくれている人がいるから当たり前みたいになっているんだなと思いました。
- ・今の土木はこんなに進歩していて、今後の土木の仕事に興味がわきました。

